

令和3年度 第1回福祉センター運営委員会会議録（要旨）

1. 日 時 令和3年6月25日（金） 午後4時00分から午後5時15分
2. 場 所 やまなみ荘
3. 出席者 委 員：藤澤幸恵、望月典子、太田譲、小山芳孝、平田正夫、曾根原ふさ子
久保田敏通、藤原久紀
村 長：藤澤泰彦
副村長：牛越宏通
事務局：眞島弘光（所長）、小坂部元（支配人）、牛越実（料理長）

4. 会長互選 次のとおり互選により決定した。
会 長：久保田 敏通（区長会）

5. 協議事項

（1）令和2年度の運営状況について

※令和2年度の運営状況（取組内容、会計状況、利用者数等）について資料により説明

問：収支決算について、黒字化するにはいくら位の売り上げがあれば黒字になるのか。

答：一ヶ月で1,000万円の売り上げがあれば、計算上黒字になるが、今年度は人件費を削減しているので900万円の売り上げがあれば、計算では黒字となる。

（2）令和3年度の運営について

※令和3年度の運営（取組、予算、5月までの会計状況等）について資料により説明

問：自転車の貸し出しについて宿泊者を対象にしているということであるが、どんなタイプの自転車なのか。MTBなのか。

答：若干スポーティーなタイプの自転車である。大人用4台、子ども用4台。

問：昨年度事業の中で劣化度調査を実施しているが、今年度修繕等必要なのか。

答：喫緊に修繕を行わなければならないのが大まかに1億円以上、5～10年間の中長期的に修繕しなければならないのが2億円以上、あわせて3億円以上となる。今年度交付金関係に詳しい方に良い補助事業について確認をしているところである。どの辺まで修繕するのか早急に検討していくが、早くて来年度着手出来るかどうかという状況。やまなみ荘全体がすごく痛んできており、リニューアルしてから10年程度、建設してから40年近く経過している。外壁の痛みや厨房も不具合があり、特にひどいのが風呂で相当費用が掛かると思う。

問：リニューアル時に風呂の改修は行っていなかったのか。

答：管路はほとんど改修していない。浴槽だけ岩盤照石を敷き詰めて体の芯から温まるように改修した。レジオネラ菌で泡の出る仕組みがダメとのことで現在は作動していない。何とか補助事業を探して来年度から改修をしていきたい。

問：収支を改善するには、とにかく宴会を増やさないと改善していかないと思う。皆さんから足を運んでもらえる施策を考えていかなければならないと思う。

答：今後の状況を見ながら、皆さんに来ていただけるようなプラン等を計画していく。また、県の安全安心な店のステッカーが貼ってあるが、県から安全であるとの認定も受けている。

問：10人くらいまでの宴会はいいのか。

答：県では10人まで、国は4人以下。

問：宴会でも、県民前売割のような県の補助などが受けられるものがあるのか。

答：県で行っている日帰り割はあるが、旅行会社を介して移動手段としてバスをチャーターしたりした場合が割引対象となり、やまなみ荘のようにマイクロバスでの送迎や自家用車でお越しになるケースでは対象外となってしまう。

問：道の駅との連携は、効果があるのか。

答：道の駅の売り上げは昨年度も伸びている。今年度の4・5月の売り上げも昨年度同月に比べ伸びている。CM等の宣伝効果は絶大なものである。山村活性化対策事業で生産者組合が事業主体となり国からいただいた補助金から、事業の一環とした宣伝広告などを行っている。やまなみ荘のCMについても、道の駅生坂の郷から山菜やタケノコなどの地元産の農産物を仕入れてやまなみ荘で料理を提供する仕組みでCMを作成し、放映し話題作りをして来客増につなげている。その他、生坂村産の野菜などを利用したインパクトのあるCM作成について良いアイデアがあれば提供願いたい。ブドウを使ったスイーツなどでCM作成とあわせて料理の提供も出来れば話題性も出て集客につながると思う。

問：ジビエについてはどうか。集客にもつながるのではないか。

答：食肉センターの許可等の問題がある。ジビエの肉は高い。

問：そば打ち体験施設、バーベキューセットの利用状況は。

答：令和2年度は、そば打ち体験はGo-Toトラベルで2件あった、バーベキューセットは台のみの貸し出しが多くゴールデンウィークなどの連休、お盆など子供が休みの時に10件ほどの貸し出しがあった。また、そば打ち体験館について、やまなみ荘で提供しているそばをお子様倶楽部のメンバーにそば打ちをお願いし、頻繁に使用していただいている。

(3) その他

特になし

6. 閉会